

北の庄沢・兄弟社村 夢の兄弟社村で自然体験！！

私立 近江兄弟社小学校

TEL:0748-31-2122 FAX:0748-31-2123

〒523-0818 滋賀県近江八幡市浅小井町 699

夢の兄弟社村、ここでしかできない自然体験！

1, 学校の概要

近江兄弟社小学校は近江八幡市の旧市街の市井キャンパスから自然いっぱいの浅小井キャンパスに移転し3年目となる。琵琶湖の大自然、西の湖の中自然、蛇砂川の小自然と、自然豊かな環境が身近なところにある。本校は小規模な学校ではあるが、こども園から高校までを擁するキリスト教主義に立つヴォーリズ学園の小学校である。



(兄弟社村・風車)

2, 本校の環境教育

本校が滋賀県の「エコスクール活動」に参加して15年になる。環境体験活動の主な拠点は本校から北方向にある北之庄にある兄弟社村である。子どもたちが名付けた「兄弟社村」にはみんなの学習室(ひみつ基地)、陶芸ができる穴窯、米や野菜を育てるあめんぼ田んぼや畑、琵琶湖の生態系とつながっているビオトープなどが整備されている。目の前の北之庄沢ではカヌー体験をしている。

本校の教育の3本柱の一つが心豊かな人間育成を目指す「宗教教育」で、その中に「体験学習」が位置付けられている。子どもたちの心と身体のバランス良い成長のために、日々の体験学習活動に取り組んでいる。体験学習を通して、自然界のあらゆる生き物を大切にし、命の尊さの分かる子ども、隣人を思いやる優しい心を育成したい。移転して3年の浅小井キャンパス、そして、兄弟社村をフィールドにしてダイナミックで創造性に富んだ教育を目指している。

ビオトープでは9月に、ヴォーリズ学園ビオトープ委員会主催でビオトープの生態調査を実施し、今年も多くの児童、保護者が参加した。環境NPOの「碧いびわ湖」も参加してくれ、子どもたちに生き物や環境についてくわしく教えてくれた。生き物調査の結果としては、カエル・オタマジャクシ・メダカ・ザリガニが多く見られた。今後も、北の庄沢の自然の素晴らしさを子どもたちの力で守り、動物や植物などが集まる素晴らしい兄弟社村が維持できるように、体験学習活動を進めていく。



(ビオトープ生き物調査)

3, 兄弟社村での主な取り組み

○1年生

- ・安土への遠足で西の湖の自然を体験。
- ・5年生と一緒に兄弟社村での田植え、稲刈り、脱穀を通した米作り学習。兄弟社村まつりで販売した。お米を被災地にメッセージと共に送付。

○2年生

- ・6年生と共に、JAさんの協力でサツマイモを栽培・収穫し、兄弟社村まつりでフライドポテトとして販売。
- ・兄弟社村の畑でエダマメを栽培し、兄弟社村まつりで販売。

○3年生

- ・しまっち（環境レイカーズ島川氏）と兄弟社村自然体験活動。

○4年生

- ・兄弟社村で理科の自然観察。

○5年生

- ・兄弟社村「アメンボ田んぼ」でのお米作り。1年生と共に田植えから収穫まで行う。また、村まつりで収穫したお米をおにぎりにして販売。

○6年生

- ・「仲間と一緒に琵琶湖の自然を体験しよう」琵琶湖一周サイクリング。サイクリングで琵琶湖の風を感じながら、そこで暮らす多様な生物のこと、人々のくらしの様子などを学んだ。
- ・栽培収穫したサツマイモを兄弟社村で焼いもにして全校児童にふるまった。大きなサツマイモに火が通るよう自分たちで焼き方を工夫した。

〔全校で行った活動〕

① 兄弟社村まつり

兄弟社村ができてから、今年で15年目。今年も収穫感謝祭として「兄弟社村まつり」を浅小井キャンパスで行った。各学年、兄弟社村で栽培収穫したものや加工した物などを販売した。環境委員会ではエコトイレの設置に向けて、手作り品や自然ポストカードの販売を行った。保護者や地域の方のお店も多数出店され、たくさんの方との交流をする機会にもなった。心に残る兄弟社村まつりでした。



(兄弟社村まつり)

② 全校で取り組む牛乳パック回収

各クラスで飲んでいる西牛乳の牛乳パックをハサミで切り、水で洗い乾かして環境委員会が回収している。牛乳パックをきれいにまとめ「碧いびわ湖」に引き取ってもらい「ただいまロール（トイレットペーパー）」を購入し、資源の循環を実感できるようにしている。環境委員会では牛乳パックからパルプを取り出し、手作り和紙づくりの活動を行った。

③ P T Aサークル Nature Club スタート

保護者と職員の有志でP T Aサークル Nature Club が立ち上げられた。主な活動は兄弟社村の自然の中での、子どもたちの自発的な遊び、収穫物を食べる食事、実体験を伴う英語でのコミュニケーションである。

4, 成果と今後

エコスクールをスタートして今年度で15年目を迎え、子どもたちの環境に対する意識がしっかりと定着している様子がうかがえる。日々の学習活動では、身近な環境への思いや生き物に対する関心の高さが感じられる。兄弟社村の存在が子どもたちの学びの姿・考え方に大きな影響を与えていることがよくわかる。子どもたちの活動に保護者や地域の専門家なども協働で取り組めることが多くなってきた。今後も、「兄弟社村」の自然環境を通して、自然環境を大切にできる子どもたちに育つよう教育活動を行っていく。